NIE実践報告

1．タイトル：☆新聞をより身近に感じるために

2．学校名

東京都武蔵村山市立第五中学校

3．実践者名（代表者名）

河　太久哉、佐野　貫宏、永関　大地

4．学年

第1・2・3学年（全学年）

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社　603人

6．単元（本時の学習課題）名

新聞に親しもう

7．目標(狙い)

生徒たちが、毎日の主要6紙の記事の中から自分が興味関心のある記事を選んで、目を通すようになる。

8．評価の視点

新聞記事に興味関心を持ち、普段から新聞に目を通す生徒が増えてきたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

新聞に興味関心が持てるように、適宜新聞記事を授業の中で使用してきた。6紙が配達される9月~12月までの4か月間、職員室前に閲覧コーナーを設けた。

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

・職員室前に読売・朝日・毎日・日本経済・産経・東京新聞の6紙を自由に閲覧できるコーナーを設けた。
・新聞記事に興味関心が持てるよう、授業でも新聞記事を活用して新聞に親しませるようにした。

（留意点）
・学年を問わず誰でもいつでも気軽に新聞が読めるように、どの学年の生徒も通る場所に閲覧コーナーを設ける。
・気になることがあればいつでも以前の新聞が見られるように、箱の中に前日までの新聞をストックする。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

当初は、閲覧コーナーに目を向けるものの新聞を手にとって読むような生徒はほとんどいなかったが、やがてそこに新聞があることが当たり前になってくると、学年を問わず多くの生徒が興味を示し、新聞を手にとって読み、記事のことを話題にするようになった。

12．成果と課題

生徒たちが新聞に興味関心を持つようになった上に、教員の中にも授業で記事を使いたいという声も聞かれるようになり、取り組み以前よりも新聞をより身近に感じられるようになった。毎日のように閲覧コーナーのきて記事に目を通している生徒もいて、新聞に対する興味関心は数段高まったように感じている。今後は記事から得た情報に対しての自分の考えを書かせたり、テーマを設けて継続的に新聞を利用して取り組ませるような授業を組み立てていきたい。